

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 1 月 27 日
東京電力株式会社

<タービン建屋地下のたまり水の処理>

◇高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

[処理設備]

- ・H24/1/16 12:12 第二セシウム吸着装置を起動。12:17 定常流量に到達。
- ・H24/1/17 18:42 セシウム吸着装置を起動。18:45 定常流量に到達。

[貯蔵設備]

- ・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

◇トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元→移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋→集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋、雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・1/26 21:44～1/27 8:14 移送実施
3号機	・3号機タービン建屋→集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋、雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・1/26 21:40～1/27 8:10 移送実施
6号機	・6号機タービン建屋→仮設タンク	・1/27 移送予定なし
移送先		移送先の水位状況 (1/27 7:00 時点)
プロセス主建屋		水位:O.P.+ 4,080 mm(水位上昇累計:5,297 mm) 1/26 7:00 から 51 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)		水位:O.P.+ 2,585 mm(水位上昇累計:3,311 mm) 1/26 7:00 から 212 mm 下降

◇トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (1/27 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P.+ 850 mm (1/26 7:00 と同じ)	O.P.+ 2,706 mm (1/26 7:00 から 23 mm 上昇)	O.P.+ 4,255 mm (1/26 7:00 から 27 mm 下降)
2号機	O.P.+ 3,074 mm (1/26 7:00 から 9 mm 上昇)	O.P.+ 3,049 mm (1/26 7:00 から 7 mm 上昇)	O.P.+ 3,213 mm (1/26 7:00 から 8 mm 上昇)
3号機	O.P.+ 3,050 mm (1/26 7:00 から 6 mm 下降)	O.P.+ 2,959 mm (1/26 7:00 から 9 mm 下降)	O.P.+ 3,259 mm (1/26 7:00 から 5 mm 下降)
4号機	—	O.P.+ 2,978 mm (1/26 7:00 から 15 mm 下降)	O.P.+ 3,009 mm (1/26 7:00 から 6 mm 下降)

<放射性物質のモニタリング>

海水核種分析結果(参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約30m	1/26	8:40	ND	ND	0.02
福島第一 1~4号機放水口南側約330m	1/26	8:20	ND	0.02	0.02
福島第二 3,4号機放水口付近	1/26	8:20	ND	ND	0.01
福島第二 1,2号機放水口南側約7km	1/26	8:00	ND	ND	0.02

・その他福島県沖合9地点(1/25 採取分)における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)は全てND。

<使用済燃料プールの冷却> (1/27 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	14.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	12.7 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	12.3 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	22 °C

【2号機】・1/19 11:50～ 使用済燃料プールの塩分濃度を低減させるため、塩分除去装置の運転を開始。

【3号機】・1/14 15:18～ 使用済燃料プールの放射性物質除去のため、放射性物質除去装置の運転を開始。

<原子炉圧力容器への注水・原子炉の状況> (1/27 11:00 時点)

号機	注水状況	給水ノズル温度	原子炉圧力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約4.5 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約2.0 m ³ /h)	25.6 °C	25.8 °C	106.6 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約7.0 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約2.0 m ³ /h)	46.3 °C	48.6 °C	109 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約8.6 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約0.0 m ³ /h)	44.5 °C	53.4 °C	101.6 kPaabs

【2号機】・1/27 9:43 給水系からの注水量を約 8.2m³/h から約 6.9m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 0.7m³/h から約 2.0m³/h に変更。

【3号機】・1/27 9:14 給水系からの注水量を約 8.5m³/h から約 8.9m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 1.0m³/h から0m³/h に変更。

・1/27 15:01 高台炉注水ポンプの注水配管引替が完了したことから、給水系からの注水について、タービン建屋内炉注水ポンプから高台炉注水ポンプへ再切替を実施。

・1/27 15:11 給水系からの注水量を約 8.9m³/h から約 7.9m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を 0m³/h から約 1.0m³/h に変更。

【4号機】【5号機】【6号機】・特に変化なし

<その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を継続実施中。
- ・H24/1/11～ 集中廃棄物処理施設のプロセス主建屋と雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)間のトレンチにおける放射性物質を含む水溜まりの発見(H23/12/18)を受け、発電所構内のその他のトレンチ等の点検を開始。
※日々の点検結果については別途参考配布資料を参照
- ・H24/1/27 午前 11 時 20 分頃、パトロールを実施していた協力企業社員が、固体廃棄物貯蔵庫と定検資材倉庫の間の純水配管フランジ部にて、0.5 リットル/分程度の水漏れが発生していることを発見。午後1時 28 分頃、フランジ部の増し締めを行ったところ、漏えいが停止したことを確認。なお、漏れた水は純水であり(表面線量率は周辺の雰囲気線量率と同等)、付近に排水溝はないため、海への流出はないと思われる。

以上